



気候変動影響下でも「なし」の安定生産を！

栃木県の「なし」は生産量が全国第3位。気候変動に適応する研究により、主要農産物である「なし」の安定生産を目指す「栃木県農業試験場」の取組を紹介します。

気候変動が「なし」の生産に影響

冬～春の気温が高い

➡ 発芽・開花が早まる

➡ 低温による被害



発芽・開花が早まったところに低温にさらされると、結実不良が起きます。近年、頻度が高くなっており、県内でも大きな被害が発生しています。



凍害による花芽の枯死

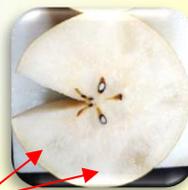


霜害による花器の裂皮

夏の極端な高温

➡ 成熟期の高温による障害

成熟期の高温により、果肉の軟化、みつ症等の果肉障害、貯蔵性が低下するなどの被害が発生しています。



みつ症

厳しさを増す気候変動に適応

新 生育予測プログラム開発で安定生産を！

受粉や摘果などの管理作業を適期に実施するためには、的確な生育予測が重要です。果樹研究室では、気象データを基に、県内主要生産地10地点における「なし」の開花期や収穫期などの予測情報を提供しています。

しかし、近年、気候変動の影響はさらに強まり、現在のプログラムでは予測誤差が大きくなっています。

そこで、生育予測の精度を向上させた新たな予測プログラムを開発しています。併せて、各生産者のほ場などにおける予測を可能にすることを目指します。

新プログラムは、生産現場が生育予測を手軽に行えて、気候変動下での「なし」の安定生産に役立つものとしていきます。

栃木県農業試験場生まれ

「にっこり」

1996年に品種登録

お父さん：豊水

お母さん：新高

栃木県が誇る国際観光地の「日光」と梨の音読み「り」を組み合わせ命名。

大きくて、柔らかく糖度の高い、
ジューシーなおいしさが自慢
大きいものは、1kg超。

11月中旬までが収穫期ですが、涼しい場所で2か月程度保存できて、お正月にも楽しめます。海外にも輸出しています！

見た目も 味も
すごい「なし」!



栃木県気候変動適応センター 【事務局：栃木県環境森林部気候変動対策課 ☎028-623-3187】

気候変動とその影響、気候変動影響による被害を回避・軽減するための適応策に関する情報はセンターHPを御覧ください。

(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/tochi-tekiou.html>)

HP



Twitter